



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学校だより

2月号

【春よ 来い！】

立春を過ぎても、県北では積雪の便りが聞かれ、南部でも雪が舞う日があり、春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。「まん延防止等重点措置」が延長され、オミクロン株の感染者数はなかなか減りません。

3月8日（火）には高等部、15日（火）には小中学部の卒業式が行われます。卒業式前には、例年であれば、在校生が感謝の気持ちを込めて「卒業生を送る会」を行うところですが、今年度も学部の全児童生徒が集合して行うことは難しいため、工夫しながら感謝の気持ちを表したいと思います。

高等部3年生は社会へ、中学部3年生は高等部へ、小学部6年生は中学部へと、4月からはそれぞれのステージに進みます。西日本豪雨災害やコロナ禍など、様々に困難なことがありましたが、よく学び、友達や先生と共に過ごした日々が、卒業生の人生の輝く1ページとなっていることを願いたいと思います。

（校長 西 千秋）

【一人一人の成長を喜び合う学校】

もうすぐ3月、1年間の学びのまとめをする月になります。大きなカバンを背負って歩くだけでも大変そうで、支えなくなっていた知小1年生、先輩たちの中で緊張した面持ちで授業に参加していた肢小1年生も、軽やかな足取りでカバンを背負って歩いたり、満面の笑顔で授業に臨んだりしている様子から1年間の成長を感じます。コロナ禍で臨時休業した時期もありましたが、皆、1年間の学習を無事終了することができたことが嬉しいです。

校内を回っていると、様々な場面に出会います。歩く練習をしているAさんに「速く長く安定して歩けるようになったね。」と声を掛けると、一緒にいた先生がこんなことを教えてくれました。「先日、図書室で自分で絵本を選ぶことができたんです。そのことを連絡帳でお伝えすると『お気に入りのDVD』と同じ本だったことが分かりました。ただ選んだのではなく、お気に入りの分かって選んだことが、すごいんです。」と嬉しそうに教えてくれました。

「トイレに行きたいことを、伝えてくれるようになりました。」「マスクを着けることができるようになりました。」「パワーポイントを使って発表ができました。」「児童生徒の成長を伝えてくれる先生の顔は、いつも輝いています。まるで自分のことのように誇らしげです。一人一人の成長を喜ぶことができ、それを保護者の方と共有できる学校でありたいと思います。

卒業式、修了式には個別の指導計画（学習の記録）を持ち帰ります。お子様の成長を学校と共に喜び、次への意欲のために、お子様をしっかり褒めてあげていただければと思います。

倉敷まきび支援学校ホームページ

倉敷まきび支援学校

検索



倉敷まきび支援学校 Facebook



フォロー、いいね！おねがいします
フォロワー300人突破！



